

本年度（令和元年度）の学校評価

本年度の 重点目標	さまざまな場面を通じて、生徒が自主的な学習者となることができるよう、教科及び分掌で創意工夫する。		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
保護者・同窓会との連携 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対し、本校教育活動への更なる理解・協力を得るため、PTA活動への積極的参加を呼びかけ、役員中心の運営を目指す。また職員との連携の強化を図る。 ・名南地区PTA研修会での発表を受け、PTA各種委員会との更なる連携を図る。 ・保護者懇談会の更なる改善を図る。 ・ホームページの更新を適切に行い、更なる充実を図る。 ・同窓会の充実・発展への支援をする。役員との連携を密にする。 ・式典運営について多方面との協調を図り、魅せる式典運営を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA委員会で各活動への積極的参加を依頼するとともに、きずなネット、ホームページなどを通してPTA活動の積極的発信をする。保護者のニーズに合った研修会を実施する。 ・PTA委員による評価を行い、結果をできるだけ反映させるようにする。 ・同窓会の役員中心の活動を、積極的に支援し、組織の充実を図る。 ・ニーズに合った式典内容を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA活動に積極的な参加ができる雰囲気を作る。 ・HP、広報誌「みな美」等を通してPTA活動の広報、発信を行い、PTAについてのさらなる理解・協力を得、連携の強化を図る。 ・PTAや同窓会との連携・協力体制をより一層深める。
学習指導 (教務部)	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上につながる家庭学習の取組について。 ・次期学習指導要領実施に向けた教科科目の研究。 ・成績処理システム導入に向けての始動。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の質的向上を図るとともに、生徒が予習・授業・復習のサイクルを確立できるよう指導内容・指導方法について工夫をする。 ・長期休業中等の課題の量及び質の適正化を検討する。適切な学習課題を与えながら、自主的に学ぶ姿勢の確立・習慣化を図る。 ・2020年度からの次期学習指導要領の研究を始めていく。 ・1年間かけて、成績処理システム（メソフィア）の内容の把握、理解に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生活実態調査の結果による課題への取組状況の変化。 ・教科主任会、教科会、学年会との連携を密にし、成績不振の生徒・欠課の多い生徒の状況把握と早期の対処に努める。 ・来年度から成績処理システムをどの程度採用していくかを慎重に見極める。

<p>進路指導 (進路指導部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路意識を喚起し、各自が自立した進路選択ができるように導く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年に適した進路ガイドンスを実施し、生徒が各自の将来の目標に向けた進路実現を達成できるよう指導する。また、各学年の要望を把握し、適切な情報を提示する。 ・長期休暇で実施される職場インターンシップを通して、職業を見据えた進学等を考えさせる。さらに年間を通じて国公立大学で開催される高校生向けの学習講座などを積極的に紹介し、知的好奇心を高め、学習意欲の喚起に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年と連携をとり、適切な資料を提示し、生徒の進路意識を喚起する。 ・2020年度の大学入学共通テストに向け、全職員と情報共有し、対応を検討すると同時に、保護者、生徒には正確な情報を提示する。
<p>生徒指導 (生徒指導部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・規律ある生活習慣の確立と定着。 ～自己指導力の育成～ ・いじめ防止についての取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・年6回の「身だしなみ指導」を実施。 ・遅刻防止のための「校門立ち番指導」を実施。 ・スクールカウンセラー（SC）の設置と連携。 ・ソーシャルワーカーの仕事の理解を図る。 ・生徒指導部による、企画運営の講話や全体集会の実施。 ・教育相談の充実を図り、いじめや不登校の問題について早期適切な対応。 ・年2回のいじめアンケートを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会と協力し、段階をおった指導を日常的に粘り強く行う。 ・制服を自ら端正に着用するよう指導の工夫を図り、自己指導力を定着させる。 ・校門遅刻3回で3日間の早朝登校(8:10)を課し、生活のリズムを整えさせる。 ・SCとの連携による教育相談の充実を図る。 ・生徒に対し、毅然と受容のバランスを念頭においた指導の実施 ・いじめアンケートでは、個人名が判明しないように封書して提出させる。
<p>図書館活動 (研修部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用促進と生徒の読書意欲の向上。 ・授業研修週間の有効な活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の充実と、読書・学習の場としての環境整備をさらに推進する。 ・図書委員会の主体的な活動をサポートする。 ・「授業研修週間」を設定し教職員へ周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用促進のため、行事・掲示・宣伝の工夫に努める。 ・調べ学習や、発展学習に役立つような選書をし、生徒が活用しやすいよう館内整備に努める。 ・図書委員の各係活動において、生徒自ら企画し、運営できるように指導する。 ・「授業研修週間」が他の現職研修への契機となるよう配慮する。
<p>特別活動 (特別活動部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的な生徒会活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・執行部会・各種委員会の活性化及び定例日の活用。 ・生徒会執行部、各種委員会による行事の企画・運営とそのため組織作り。 ・名南際20周年にふさわし 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会執行部と各種委員会の連携を密にし、各種行事において組織的な活動ができるように指導・助言する。 ・生徒議会・各種委員会の運営を生徒自身で行えるようにサポートする。 ・資料・記録を整理できるような環境を

		<p>い企画や運営の充実。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会室の整備、資料・記録の整理。 ・ボランティア活動（校外清掃・募金活動）の企画、運営。 	<p>整え、生徒間で引き継ぎをできるように援助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会行事・ボランティア活動の充実を図るために活動内容・方法を工夫する。
<p>美化活動（ゴミ分別回収の徹底と清掃の充実） （保健部）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10分間清掃の充実（監督者不在時の清掃）。 ・校外から持ち込んだものは極力持ち帰るように働きかける（ゴミの減量化）。 ・ゴミ分別に対する意識をさらに高める。 ・トイレ環境の整備・美化と、その維持に努める。（トイレの正しい利用方法の普及・徹底と清掃の充実） 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別回収に対する生徒及び教職員の意識高揚のため、掲示物を整備し、呼びかけを充実させる。 ・清掃場所への移動を早くするとともに、屋外清掃時は靴の履き替えを徹底する。 ・現場（教室）での分別回収を徹底する。 ・美化委員会を開き、委員の仕事徹底させる。 ・生徒（特活部）に働きかけ、生徒の自主活動を通じて美化意識を高めていく。 ・校門付近で配られるチラシ・パンフレット類の受け取りについての指導を徹底させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美化委員会を随時開催し、各クラスでの問題点、改良点などの情報交換を充実させる。 ・紙類を含め、すべてのゴミの分別に関して、根気よく継続的に啓発する。
<p>学校運営 （教頭）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の多忙化解消 ・部活動の適正な運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の多忙化解消プラン・部活動ガイドラインに沿った学校運営を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開錠7時、閉庁20時を守るよう職員に呼びかける。 ・部活動運営方針・各部の年間指導計画をHPにアップし保護者に周知する。 ・各部の月間活動計画については、休養日の取得日数について、生徒の健康面や学習時間の確保のため、各部顧問と相談していく。

(4) 前年度の学校評価

前年度の 重点目標	さまざまな場面を通じて、生徒が自主的な学習者となることができるよう、教科及び分掌で創意工夫する。		
項目 (担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
保護者・同窓会との連携 (総務部)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対し、本校教育活動への更なる理解・協力を得るため、PTA活動への積極的参加を呼びかけ、役員中心の運営を目指す。また職員との連携の強化を図る。 ・名南地区PTA研修会での活動発表を成功させるために、PTA各種委員会との連携を図る。 ・保護者懇談会の更なる改善を図る。 ・ホームページの充実を図る。 ・同窓会の充実・発展への支援をする。本年度は総会開催年にあたるため、円滑に開催できるように準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA委員会で各活動への積極的参加を依頼するとともに、きずなネット、ホームページなどを通してPTA活動の積極的発信をする。保護者のニーズに合った研修会を実施する。 ・PTA委員による評価を行い、結果をできるだけ反映させるようにする。 ・同窓会の役員中心の活動を、積極的に支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA 総会への出席者数は前年並であった。1年生が1クラス減であったが、参加者数減はなかった。 ・PTA 委員会の出席状況は良好であった。各種委員会活動も良好である。年度途中での役員変更、委員辞任もあったが、全体的には積極的な活動であった。 ・3回の研修会（家庭教育講座含む）の参加者は昨年度より少し減少した。魅力有る研修会を来年度以降もPTAと協力して計画していきたい。 ・名南祭バザーには多くの物品を提供していただき、多くの収益を得ることができた。 ・PTA 名南地区研修会において活動内容を発表した。準備段階からPTA 役員・委員の協力の下、素晴らしい資料が作成でき、満足のいく発表ができた。 ・各家庭への配布物については、本年度もきずなネットの掲載を行い、配布物が保護者の目にとまるようになった。 ・保護者懇談会は、本年度もPTA 主導で実施した。酷暑の仲での開催であったので、当日欠席が多く出てしまった。内容については盛会であった。 ・式典の静寂はしっかりと保たれた。 ・同窓会総会を実施した。若干参加者が少なかったが、盛会の内に終了することができた。 ・ホームページをより見やすいように、作業を継続している。
学習指導 (教務部)	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上につながる家庭学習の取組について。 ・次期学習指導実施に向けた教科科目の研究。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の質的向上を図るとともに、生徒が予習・授業・復習のサイクルを確立できるよう指導内容・指導方法について工夫をする。 ・長期休業中等の課題の量及び質の適正化を検討する。適切な学習課題を与えながら、自主的に学ぶ姿勢の確立・習慣化を図る。 ・2020年度からの次期学習指導要領の研究を始 	<p>家庭学習への取組について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生は自己の進路目標に向かってしっかり学習時間を確保している。 一方、1. 2年生は学期を追うごとに家庭での学習時間が減っている。 ・家庭での過ごし方はスマホに依存して、スマホによるゲームやラインに没頭している。 ・読書や新聞を読む習慣も身につけていないのが現状。 ・今後は、学習と部活動との両立を目指すとともに、明確な目標を持たせ、粘り強い指導を継続する。そして生徒の達成感や充実感を体現させ、学力の定着につな

		めていく。	<p>げる指導を目指す。</p> <p>長期休業中の課題に目安時間を設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に取り組む習慣を身につけさせるねらいである。 ・成果が現れるには少し時間をかけて見守っていく必要があると考えている。 <p>指導要録の電子化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現1年生の要録に対応するように作成中である。 <p>新学習指導要領実施に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科主任会を通して、本校生徒の強みや今後目指したい生徒について検討を加えた。 ・それらを踏まえた教育課程は来年度検討を始めるため、現在各教科に教育課程案の作成を依頼している段階である。 ・時代とともに変化する生徒に対応しながら、名南生としての学力水準を伸ばすことを考えて、適切な対応を取っていく方針である。
進路指導 (進路指導部)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路意識を喚起し、各自が自立した進路選択ができるように導く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年に適した進路ガイダンスを実施し、生徒が各自の将来の目標に向けた進路実現を達成できるよう指導する。また、各学年の要望を把握し、適切な情報を提示する。 ・各学年に、長期休暇で実施される職場インターンシップや、大学で開催される高校生向けの学習講座などを積極的に紹介し、知的好奇心を高めるとともに、職業を見据えた大学進学等の意義を考えさせる。そのために今年度は、進路で厳選したインターンシップや大学の学習講座等を、各学年の担任会で提示し、担任を通して生徒に紹介していただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場インターンシップ参加人数は、「1日看護体験」に9名、「医療体験」に1名、「臨床工学技士体験」2名、「NPO 主催職場体験」1名、「幼稚園体験」3名と合計16名(昨年19名)であった。昨年より微減した。来年度は、1. 2年生の1学期の進路LTで、インターンシップの意義を伝えてから、担任を通して生徒に呼びかけていく。 ・2. 3年生対象の、オープンキャンパス、大学の学習講座等への参加人数調査結果では、オープンキャンパス：2年120名(昨年165)、3年176名(昨年190)。学習講座：2年18名(昨年34)、3年38名(昨年37)という結果であった。国公立では、京都、大阪、神戸、横浜国立、東京外国語などに参加。また、私立大学では、関関同立はもちろんのこと、慶応、明治、青山などにも参加するなど、難関大学を意識している生徒は着実に増えている。さらに、学校で紹介しているが、自主的に「名大研究室の窓」や名古屋工業大学の「公開講座」に参加している生徒もいて意識が高まっていることを示している。来年度もより一層各大学の学習講座を勧めていきたい。 ・今年度も1年生の探究の授業で「大学模

			<p>擬講義体験」を実施し、満足度は高かった。この模擬授業体験が3年になって大学の学部選択の一助になっている生徒が毎年いて、今後も続けたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生の探究の授業では、キャリア教育の一環として、6月にブラザー工業、10月にアイシン・コムクルーズの方による講演を実施した。また、大学学問分野調べに入る前に、今年度は1時間進路ガイダンスの時間を設け、大学入試等の説明を実施したのち大学調べを実施させたので、生徒の意識を高めることができた。 ・今年度の1年生から活動記録ノートを持たせ、探究の授業、学校行事、講演の度に各自で記入させているが、来年度以降各教科でも活用できないか検討する。
生徒指導 (生徒指導部)	<p>規律ある生活習慣の確立と定着</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年6回の「身だしなみ指導」を実施 ・遅刻防止のための「校門立ち番指導」を実施 ・スクールカウンセラー(SC)の設置と連携、ソーシャルワーカーの仕事の理解を図る。 ・高校生活実態調査を活用し、いじめ等の問題を把握する。 ・生徒指導部による、企画運営の講話や全体集会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じての定期的かつ組織的な身だしなみ指導と、各学年との連携で個々に指導を受ける生徒は減少し、多くの生徒が自己指導力を意識した対応が定着してきた。 ・学校教育活動のあらゆる場面で生徒の自己指導力を育む積極的生徒指導を意識し、実践していく。 ・12月末時点での遅刻指数は、0.71で昨年より増加した。(昨年0.42) 来年後に向け各学年で遅刻数や遅刻者の情報共有と早期の対応、日頃からの声かけによる生活習慣の確立へとつなげていくことが重要な課題である。 ・出欠席や遅刻について、原因を究明し、個々にあった対策を早期に実施していく。 ・身だしなみ指導や遅刻指導での教員間の共通理解の徹底を一層強化し、組織的な指導と対応ができる雰囲気と体制を整備していく。 ・SCとの連携協力がスムーズに図られ、お互いのフィードバックも効果的に機能した。 ・教育相談体制の充実を図るべく、SCや外部関係諸機関との連携を一層強化し、問題を抱える生徒に対して、組織として対応連携できる体制づくりの確立を図っていく。 ・各種検査からわかる生徒の状況を教員間で共有し、生徒への対応へ活かしていく。

<p>図書館活動 (研修部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用促進と生徒の読書意欲の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の充実と、読書・学習の場としての環境整備をさらに推進する。 ・図書委員会の機能的な活動をサポートする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はクラス数の減少にともなって、貸出冊数・利用者実人数とも例年より減少はしているが、1年生の利用が例年以上に活発なので、月ごとの利用者数は例年と大差なく、多くの生徒が図書館を利用している。 ・新たな試みとして、部活コラボ企画として、各部の紹介と関連する本の紹介を載せた紙を月ごとに掲示したり、読書週間に館内で文化部の作品展示やコンサートを開催した。図書館にあまり馴染みがない生徒にも図書館を知ってもらうきっかけになったと思われる。来年度も継続して実施したい。 ・図書館の利用促進を目的として、本校のホームページに、図書館の情報を掲載した。多くの生徒が、閲覧するように周知していきたい。
<p>職員研修 (研修部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研修週間の有効な活用。 ・初任研・教職経験者研修などの校内体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業研修週間の設定し教職員へ周知する。 ・生徒の現状にあった授業方法や生徒指導の在り方を研究できる研修を実施する。 ・あらかじめ年間の研修計画を作成し、各種研修が偏りなく実施できるように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業研修週間」については、アンケートの結果、現職研修として一定の意義が認められた。ただし、実施時期・期間について、改善の要望があったので、来年度は、期間を延長して実施する。今後も、より有意義なものとなるようにしていきたい。 ・職員研修会は、関係分掌の協力により年間計画に従って4回実施した。教員個々の基本研修も年度当初に立てた計画通り、滞りなく終了できる見通しである。 ・初任者研修の研究授業は、予定時間を実施できる見通しである。参観者は、実施時間によっては限定されてしまった部分もあったが、関係教科にとどまらず多数の教員の参観が得られ、さまざまな角度から講評していただき、授業担当者にとって有意義で貴重なものとなった。 ・初任研、2年・5年・10年経験者研修は、今後も対象者が出ることを想定して、関係教科・分掌との連携を保ち、いつでも円滑に実施できる体制を維持していきたい。

<p>特別活動 (特別活動部)</p>	<p>生徒会活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・執行部会・各種委員会の活性化及び定例日の活用 ・生徒会執行部、各種委員会による行事の企画・運営とそのための組織作りおよび生徒会会則の見直し ・生徒会室の整備、資料・記録の整理 ・ボランティア活動の企画、運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動を生徒による自主的な活動にしようという意欲を持った生徒会執行部が、連日生徒会室を中心に活動し、各委員会も委員会顧問と連携をとりながら活発に活動できた。全体的に生徒会活動は充実しつつある。 ・合唱コンクール、球技大会、名南祭においては、関係委員会や職員の皆さんの協力により、無事実施することができたが、様々な点で反省点も浮かび上がってきた。来年度はこの反省をいかしてよりよい学校行事が運営できるように計画していきたい。また、各委員会の組織的な動きもできつつある。昨年度に比べて、委員会全体が主体的に動けるようになってきた。 ・ボランティア活動(校外清掃・募金運動など)も定着しつつある。今後は、年間を通じてボランティア等を意識できる活動も考えていきたい。
<p>保健部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10分間清掃の充実。 ・校外から持ち込んだものは極力持ち帰るように働きかける(ゴミの減量化)。 ・ゴミ分別に対する意識をさらに高める。 ・トイレ環境の整備・美化と、その維持に努める。(トイレの正しい利用方法の普及・徹底と清掃の充実) 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別回収に対する生徒及び教職員の意識高揚のため、掲示物を整備し、呼びかけを充実させる。 ・現場(教室)での分別回収を徹底する。 ・年間に美化委員会を数回開き、委員の仕事を徹底させる。 ・生徒(特活部)に働きかけ、生徒の自主活動を通じて美化意識を高めていく。 ・外庭清掃時の移動を早くすると同時に、靴の履き替えを徹底する。 ・校門付近で配られるチラシ・パンフレット類の受け取りについての指導を徹底させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別については、日々の清掃活動を通じてクラスの清掃担当や、美化委員の働きにより、特に問題もなく実施することができた。 ・外からの持ち込むゴミ類(パンフ・チラシ等)についても、生徒の意識が高く、良い状況が保たれている。 ・飲料水容器の分別については、1階渡り廊下での美化委員の活動により、徹底できている。 ・各教室での分別もほぼ徹底できている。 ・授業終了後の10分間清掃について、移動のタイミングを早め、時間確保に努めることと活動自体を充実させていくように働きかける。 ・外庭清掃など季節により、一時的に多くの道具が必要となるので、効率的に清掃活動が行なわれるように用具の確保をしていく必要がある。 ・今までと同じように、トイレの適切な環境維持のために、毎日の清掃活動の継続と、必要物品の購入をしていく。
<p>総合評価</p>	<p>重点目標については、各分掌とも意欲的に取り組み、おおむね成果を上げることができた。世代交代を意識して、伝統の継承と改善、新たな取り組みのバランスも取れつつある。今後も状況に応じた柔軟な取り組みを進めたい。</p>		